

前文

新型コロナウイルス感染症が5類に移行して1年が過ぎ、コロナ禍前の生活が戻ってきた。
 長崎大学文教おもやい保育園（企業主導型保育施設）とは、月に2回の交流リズムを実施すると同時に、保育士も研修等を通してお互いに保育の質の向上を目指していきたい。
 また、昨年度に引き続き法人内7施設とも、これまで以上に連携を深めつつ、地域との交流も密にしていきたい。（毎月1回の各事業所代表者会議も復活）
 4年目となった異年齢保育（3～5歳児）については、子どもたち一人ひとりの主体性を大切にしたい、つばさ保育園らしい「暮らしの保育（大人の傍らで育つ子ども）」を目指しつつ、1～5歳児の異年齢保育移行に向けて外部講師を招くなどして学びを深めていきたい。
 今年度より定員を120名（30名減）に変更したことにより、これまで以上に子ども一人ひとりの声を聞き逃さず、丁寧な保育を心がけたい。

一、施設運営

1 定員及び実人数（令和6年4月1日現在）

年齢区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上	合計
定員	14人	40人	24人	42人	120人
実人数	5人	41人	23人	42人	111人

2 保育目標

子どもを真ん中にして、関わる全ての人愛情を持って接し、子どもがたくましく生きていけるよう、一人ひとりの魂に響く保育

3 主な行事

- 4月：たけのこ掘り
- 5月：こどもの日のお祝い、つばさフェスティバル
- 6月：芋苗植え、虫歯予防のお集まり
- 7月：プール開き、収穫祭
- 8月：交通安全教室
- 9月：久住登山、つばさっこ納涼まつり、クッキング保育
- 10月：秋の遠足、味噌作り、ハロウィン
- 11月：七五三詣、芋ほり
- 12月：クリスマス会、クッキング保育（ケーキ）
- 1月：初詣、かるた大会、さとうきび搾り体験
- 2月：節分のお集まり、交通安全教室、卒園製作
- 3月：ひな祭りのお集まり、お別れ遠足、卒園式

- ※誕生会（個々の誕生日に合わせて）
- ※お出かけ（異年齢の各お部屋ごと）
- ※避難訓練：毎月 1 回
- ※サッカー教室：毎月 2 回
- ※近隣小学校との交流学習
- ※他保育園、幼稚園との交流保育
- ※保護者対象の講演会
- ※近隣中学校職場体験受け入れ
- ※養成校実習生受け入れ
- ※保育参加（5 月～2 月のうち希望日）

上記の予定は、感染症拡大状況に合わせて臨機応変に開催・延期・中止の判断をする

4 健康管理

- 内科健診：年 2 回
- 歯科健診：年 2 回
- 歯磨き指導：年長児対象（年 1 回）
- フッ素洗口：4.5 歳児

5 安全管理対策

- 交通安全教室：年 2 回実施

6 地域交流事業（異年齢児交流事業）

- 近隣小学校（高城台、矢上、たちばな、日見小、日吉小中との交流）

7 栄養管理

- 給食会議（毎月 1 回実施）

「目標」

- ・栄養の質、量のバランスを考えた献立表の作成
- ・季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
- ・給食提供者としての諸管理
- ・保護者の給食試食会を実施

- 離乳食会議（毎月 1 回実施）

8 苦情への対応

- 苦情があった場合の的確な対応を心がける

二 職員

1 職員構成

園長	1名
主任保育士	1名
副主任保育士	1名
保育士	22名（含む非常勤及び短時間）
保育補助	1名
栄養士	2名
調理員	4名
看護師	1名
事務員	1名
嘱託医	2名

2 健康管理

職員健康診断（年1回）

3 研修計画

必要な各研修会に参加する

4 職員会議

会議（毎月1回）

行事打ち合わせ（随時）

行事反省会（行事後）

リーダー会議（月2回）

異年齢会議（随時）

5 園内研修

ちいさいなかまを読む会（毎月第1火曜日）

異年齢研究会（毎月第2火曜日）

その他

三 施設管理

1 適時・正確な会計事務、管理事務の運営

2 施設・遊具等の設備点検の実施（随時）

3 備品

紙芝居・絵本、室内遊具等の充実

園庭遊具の充実

園庭及び里山の整備点検等